

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 東北大学大学院歯学研究科 口腔機能形態学講座
口腔システム補綴学分野 教授 佐々木 啓一
- 2 . 演 題 補綴歯科における戦略的研究とその展開
- 3 . 日 時 平成24年1月12日(木)
17時00分 ~ 18時00分
- 4 . 場 所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂
- 5 . 内 容

歯学の一領域である歯科補綴学は、歯科医療の進歩・発展に寄与し、人々の生活、健康に貢献する「実学」である。実学とは、空理空論の虚学ではない実践・実理の学問であり、すぐに実用に役立つという意味ではない。実学としての歯科補綴学の特徴は、旧来から多様な学問領域を基盤として発展してきたところにある。すなわち、今日その必要性が声高に叫ばれている異分野融合研究をいち早く取り入れ、多くの成果を上げてきた。学問領域のボーダーレス化が急速に進み、また産学官連携が推奨される社会構造のなか、補綴歯科の進歩に繋がる研究を如何に戦略的に進めるか。これは現代に生きる私どもにとっての重要な課題である。そこで今回は、実学尊重、門戸開放、研究第一を理念に掲げる東北大学の片隅で、歯学研究科・歯学部の生き残りをかけて私どもが進めている異分野融合型の戦略的研究の代表事例をいくつか紹介しながら、今後の展開について、共に考えてみたい。

連絡先 摂食機能保存学分野 三浦 宏之(岡田 大蔵)(内線 5521)